



校報

わきいち

和合協力

気力体力

意志強固

知識探求

創立 明治8(1875)年

〒010-0342

男鹿市脇本脇本字上野1番地1

男鹿市立脇本第一小学校

TEL 0185-25-2215

FAX 0185-22-2009

<https://edu.city.oga.akita.jp/wakiichi-es/>



脇本第一小学校「山車どんどこ集会」 今年も開催！！大盛況でした

脇一小では、ふるさとキャリア教育の一環として、「山車どんどこ」という脇本の伝統文化を継承していくため、全校集会を実施しています。7月11日(金)、PTA授業参観として「山車どんどこ集会」を行い、その様子は、保護者だけでなく、地域の皆様にも見ていただく機会となりました。

4年生は総合的な学習の時間に「山車どんどこ」について調べ学習を行っており、1番に発表しました。5・6年生は笛や太鼓、口上や花火の役割をそれぞれ担って山車どんどの再現を、観光課の五十嵐さんの講話の後は、皆さんで短冊飾りや笛・太鼓等の体験をしました。ふるさとを愛する心、地域の伝統行事を継承していこうという気持ちを益々強くした脇一っ子でした。



7月4日(金)に、なかよし班(縦割り班)で山車どんどこ集会用の灯籠づくりを行いました。全児童が事前にかいておいた絵と文字を、班で協力しながら灯籠の木枠に貼り付けました。

完成した灯籠は、当日なかよしホールに飾り、来校した皆様に見ていただきました。



6月29日(日)、天神町の有志の方々に「曳山」を作成していただきました。人形や装飾品も提供していただきました。

地域の皆様の真心とあたたかさに触れ、大変嬉しく思います。

天神町の皆様、ありがとうございました。



天神町の皆様のほかにも、武者絵の絵灯籠や、たくさんの資料を貸して下さるなど、地域の皆様のご協力のお陰で集会を開催することができました。心より感謝申し上げます。



<4年生 調べたことの発表>



<観光課五十嵐さんの講話>



<山車どんどこ再現…5・6年生による明笛・太鼓・口上・花火>



<絵灯籠コンクール>



<山車どんどこ体験…短冊飾り、武者絵塗り、明笛、口上、太鼓>

<山車どんどこ保存会のお話>

「山車どんどこ集会」の感想から

○六年生と四年生がかっこよかったです。太鼓の音が響いてうれしかったです。
(二年 橋本大新)

○お願いごとをおうちの人と書いてうれしかったです。
(二年 伊藤未蘭)

○お兄さんたちがたたく太鼓の音が、すごく体にひびきました。
(二年 大友美槻)

○笛と太鼓が上手でした。短冊を書いてよかったです。
(二年 鈴木颯一朗)

○(講話を聞いて)山車どんどこが終わると、人形を海に流していたこと、「山車どんどこ」のかけ声が『ほう!』と言っていたことがあったことが分かった。(三年 小坂昊也)

○(講話を聞いて)昔は子どもが山車や人形を準備していたこと、「山車どんどこ」以外にも色々な言い方をされていたことが分かった。
(三年 戸嶋咲希)

○太鼓の体験の時、柏木陽路さんから優しく教えてもらって嬉しかったです。芽咲さんと一緒に演奏できたことも楽しかったです。
(四年 安田怜央)

○八月二日に脇本山車どんどこが復活するのでぜひ行ってみたいですね。昔、「山車どんどこ」『ほう!』と言っていたのが不思議でした。
(四年 小林華音)

○口上を思ったよりも大きい声で言えた。口上体験をアピールしたところ、たくさんの方が体験してくれた。
(五年 武田大和)

○初めて山車どんどの再現をして、一体感があると感じました。山車どんどこはこれから先、どうなるのかなあと思いました。
(五年 佐藤葉)

○小学校生活最後の山車どんどこ集会でしたが、山車どんどこがこれからも続いてくれたらいいと思います。
(六年 石川 愁遠)

○地域の方々の話を聞いて山車どんどのことや歴史を沢山学べました。心に残った集会になりました。
(六年 吉田莉子)

(六年 吉田莉子)

※今年は「脇本山車どんどこ」が8月2日(土)に復活するそうです!脇一っ子も参加します!

